

事業所名

波の音放課後等デイサービス スイミー

## 支援プログラム

作成日

令和8年

4月

1日

法人（事業所）理念		困ったときの知多学園 安心・信頼・人財 児童・高齢者が人として尊厳を保ちながら、身近な地域で人が自立した生活を送れるように支援すると共に、職員が誇りをもって働き、やる気の出る職場づくりを構築していくことを基本理念とする。		
支援方針		住み慣れた地域の中で、様々な経験を通して、社会生活を送るために必要なスキルを本人に合った方法で身につけられるように支援をする。		
サービス提供時間		平日 学校終了後 ～17:30 学校休業日 9:00～15:00	送迎実施の有無	あり (迎えのみ) なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	自分の体に関心を持ち、健康を保持できるように支援を行う。本人の特性に合わせて、生活リズムが整うように支援を行う。		
	運動・感覚	様々な運動を通して体を動かす楽しさを味わえるようにする。 身体運動を行い、自分の体のイメージが持てるように、必要な感覚を引き出すようにしていく。		
	認知・行動	個別や集団で生活に必要な道具に触れ、体験することで感覚を使い、自立や就労に向けて必要な力を習得できるように支援を行っていく。		
	言語 コミュニケーション	生活の中で名詞、動詞等の理解を増やし、人との相互関係の中で身振り（指差し、サイン等）や言語的理解等を促し、コミュニケーション能力をつけられるように支援を行う。 視覚的支援を行い、本人の特性に合わせた意思伝達や環境の理解をできるように支援を行う。		
	人間関係 社会性	本人に合った分かりやすい環境の中で、安全な場所で安心して人とのやりとりが行えるように支援を行う。 他者と関わることで気持ちの共有をし、社会的ルールを学ぶことができるように支援を行う。 就労に必要なスキル、所作、行動などを身に付けられるように支援を行う。		
家族支援	・個別相談      ・家族相談	移行支援	本人の気持ちに寄り添いながら、家族、教育機関、行政機関、福祉関係者と連携を図っていく。	
地域支援・地域連携	・常滑イオンはじめ地域の中の資源や活動、行事を活用し、社会参加できる機会を設けていく。 ・ボランティア受入れを積極的に受け入れていく。 ・地域の連絡会や協議会に積極的に参加していく。	職員の質の向上	小児科医による研修会、カンファレンス、事例検討を実施する。 事業所内研修、外部研修 日常的に職員間で利用者についての情報共有を行うようにしていく。	
主な行事等	季節のクッキング、誕生日会、避難訓練、保護者研修会、同法人内の児童発達支援センターはまっことの合同行事			